

2026年9月9日

宮崎交通株式会社

ヤマト運輸株式会社

九州初、宮崎県の日向・入郷地域で人と荷物を同時に運ぶ路線 バス型の公共ライドシェア「ねこみやバス」の実証運行を開始

宮崎交通株式会社（本社：宮崎県宮崎市、代表取締役社長：高橋 光治、以下：宮崎交通）とヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：阿波 誠一、以下：ヤマト運輸）は、路線バス型の公共ライドシェア「ねこみやバス」の実証運行を宮崎県の日向・入郷地域（日向市・美郷町・諸塚村・椎葉村）で2026年10月1日（木）から開始します。なお、本事業は国土交通省（令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」、共同化・協業化促進タイプ）、宮崎県、日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村の支援を受けて実施します。



■ 実証運行の概要

現在運行中の宮崎交通の路線バスと同じ路線・バス停で運行します。事前予約は不要で誰でも乗車可能です。ヤマト運輸の荷物は「道の駅とうごう」で、車両後部の貨物専用スペースに積み込み、集配エリアのバス停で待機するドライバーに引き渡します。

- ・ 名称：ねこみやバス
- ・ 期間：2026年10月1日（木）～2027年3月31日（水）

※ 実証運行期間中も路線バスの一部の便は並行して運行

- ・運行路線：

道の駅とうごうー塚原ーおし谷（おし谷線）運行本数8便/日、運行距離49.9キロメートル

道の駅とうごうー神門・浜砂橋（神門線）運行本数9便/日、運行距離30.6キロメートル

道の駅とうごうー池野（池野線）運行本数2便/日、運行距離5.7キロメートル

- ・運行ダイヤ：別紙運行ダイヤ表を参照

- ・運賃・乗車・支払い方法：宮崎交通の路線バスと同様

- ・使用車両：大型ワンボックスカー（乗客最大4名）

- ・車両台数：3台（予定）

- ・運行体制



■ 実証運行の背景と目的

宮崎県の日向・入郷地域では、人口減少・高齢化が急速に進んでおり、住民の買い物や通院など日常の移動手段の維持が喫緊の課題となっています。同地域を広域につなぐ唯一の公共交通機関である宮崎交通の路線バスは、利用者の減少に加え、燃料価格の高騰や運転手の高齢化・人手不足の深刻化により、事業の継続が困難な状況に直面しています。

一方、ヤマト運輸においても、同地域での荷物の集配業務で日向営業所から片道約90分かけて1日2往復しており、サービス品質の維持と集配業務の効率化の両立が課題となっています。このような地域課題を解決するため、人と荷物を同時に運ぶ路線バス型「公共ライドシェア」の実証運行を開始します。本取り組みにより、地域住民の移動手段を確保しながら、ヤマト運輸の集配業務を1日1往復に削減し、持続可能な地域インフラの構築・維持に貢献します。

今後は、利用状況や運用方法、導入効果などの検証結果を重ね、2027年4月の本格運行に向けた持続可能で強固な地域交通スキームの構築を目指します。

【お問い合わせ先】

宮崎交通株式会社 バスお客様案内センター 0570-039-385

営業時間 平日 8:00～18:00 土日祝 9:00～18:00